

平成 28 年 6 月 15 日

6 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木は新規事業に着手できず、間伐材生産が停滞。入荷量は森林組合からが減少しており、平年の水準を下回る。荷動きは製材需要の不振から製材工場の手当意欲が弱く、全般に当用買いに徹している。スギは大手工場中心に比較的安定した引合いだが、ヒノキは製品の荷動き悪く引合いが急速に悪化。丸太価格は長期低迷の中で連休明けの回復に期待したが、消費税先送りで夏場の値下がりが懸念される状況。スギは柱材・中目材とも保合で小幅な値動き。ヒノキは再び下落し柱材は弱含み、中目材は大きく値を下げている。

群馬の製材工場は角類生産を中心に通常通りの操業だが、梅雨に入りカビ発生の懸念から少し抑え気味。製品の荷動きは相変わらず悪く、特にプレカット関係の受注が5月後半から悪化している。小売店、地元工務店、公共物件等全てで販売量が少ない状況。原木の出材は減少気味。原木相場は弱いので集荷に問題はないが、今後虫害の懸念がある。製品在庫は全て潤沢で、価格は全般的に低位安定状態。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、出材が3月末より本格回復し港頭在庫は潤沢。加BC州は4月から降雨少なく、山火事危機も余談を許さない状況。ウェアハウザー社の6月積み対日米マツ価格は、前月積比尺上\$10ダウン。加アルバータ州での山火事に続き、オンタリオ州でも発生、現地製品市況に若干の影響。4月の米材丸太の入荷量は264千 m^3 で引続き好調。出荷量は305千 m^3 と大幅に増え、1-4月累計では前年同期比17%増加。在庫量は前月比若干減少し273千 m^3 。日本国内の大手米材工場は回復基調ながら想定より鈍い動き。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)5月の入荷量は25千 m^3 (前月比10%減)、出荷量は27千 m^3 (同6%減)。在庫量は50千 m^3 (同6%減)。4月の米国住宅着工は年率1,170千戸で前月比7%増、戸建て住宅・集合住宅が揃って増加。ランダムレンジス紙の6月初め15種木材価格平均は、4月末比3%アップ。現地価格は南部の戸建て住宅が9%増加するなど好調だったことから強含みと予想。荷動きは6月もプレカットを中心に忙しく、先々も見積が増加。先行きパワービルダー中

心に仕事量は確保されると予想するが、円高傾向による大手メーカーの価格下げが今後どう影響するか不透明。

3. 南洋材

サバの天候は良好だが断食月に入ったため、出材は低迷し製材工場の生産低下が懸念される。サラワクの出材減もあってサバ材の不足や値上がりが予想される。サラワクは伐採規制の影響で原木出材が停滞している中、天候不順や断食月が重なり出材低迷は更に続くと予測。PNG ソロモンは天候が回復しつつあり出材は上向いている。ボルネオ島の出材減の影響で相場は相変わらず強含み。南洋材全体の丸太の入荷は横這い、出荷は減少、在庫は横這い。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は大きな動きもなく市況は低迷している。

4. 北洋材

シベリア地域は冬山が終了し、夏山移行への端境期。現地工場は丸太確保が昨年よりさらに厳しくなり、9月までは製品生産量が低調、かつ価格も強含みで推移すると思われる。日本向けの入荷は6月から漸減し、10月頃まで続く見通し。4月の関東の製品入出荷状況は、入荷は19千 m^3 、出荷が16千 m^3 でいずれも昨年同月比で若干減少。在庫は33千 m^3 で昨年同月比25%減。丸太価格はエゾマツ、カラマツが弱含みでアカマツは保合。製材品は現地挽きが保合から強含みになり、国内挽きも良質材は上げ基調。荷動きは現地挽き3,0cm \times 4.0cmは上級、低級ともに堅調。国内挽きは高グレード品のみ好調、胴縁・ヌキは順調。国内の北洋材製材工場は不採算、稼働は通常操業、原料調達は丸太が6月以降減少、原盤は低品質材中心に流れは順調。特殊・上級材の受注多いが一般材は保合。

5. 合板

原料丸太の国産材は、スギは供給に問題なく価格も横這いだが、カラマツは手当困難で価格も若干強い。ロシア材は出材順調で価格は弱含み。米材は需要低迷から供給調整し価格も若干弱含み。南洋材は伐採規制強化により価格は更に強くなっている状況。4月の国内合板総生産量25.2万 m^3 のうち、針葉樹合板は23.7万 m^3 で依然高水準、出荷量も23.7万 m^3 と高水準が続く。在庫量は12.3万 m^3 で減少に転じた。国産針葉樹合板の6月販売価格は12mm・厚物とも小幅な値上げ。大手メーカーの火災以降、需要は旺盛で玉不足が続いており、当分はこの価格が続くと思われる。

国産針葉樹合板は、4月の国内最大手メーカーの火災以降需要は旺盛。ハウスメーカーやプレカット業者を中心に出荷は好調で、メーカーの在庫が増えない

中、タイト感は続いている。輸入合板の相場は底打ち状態だが、荷動きの回復が見られず価格の強気転換は難しい。先行き国産針葉樹合板は、プレカット業者の仕事が増加傾向であることから、今後厚物を中心に一層の供給不安があり、価格もメーカーは6月スタートで小幅の値上げを通す構え。輸入合板は現地高も言われているが、現状の需給バランスでは、横這いでの推移が順当な見方。品薄品目は針葉樹合板全般、荷余り品目は特になし。

6. 構造用集成材

WW ラミナ在庫はタイトな状況続き、QTR3 もラミナ価格はアップする見込み。WW 柱・RW 梁桁は入港少なく、国内集成材は受注が増加。販売はWW 柱、RW 梁桁とも納期が延びており、WW は納期提示が出来ないメーカー多い。先行き入港遅れが払拭されず、輸入製品在庫は不安定。分譲・集合住宅メーカーの着工増で年内の荷動きは良好な見通し。WW 間柱、柱、RW 梁桁共にタイト感はあるが価格は横這いで推移。輸入集成材は入港遅れで引合い強いが価格は横這い。品薄の WW 柱から RW 柱やスギ集成材に切り替えるケースが増加し、WW へのこだわりは薄れてきている。

7. 木材チップ

チップ用原木は FIT 発電所同士の集荷競争で影響大きく、背板も入荷が減少。解体材は例年並み。消費は製紙用に変化なく、燃料用は夏季の蒸気使用量が低下するため減少。在庫は解体材がやや増加。針葉樹チップ価格は高値横這い、輸入チップは為替変動等で値下がり。国内チップ工場の稼働状況は、原料の入荷や FIT の操業により工場間に格差。

8. 市売問屋

国産材の構造材はスギ・ヒノキとも低調な商況が続く。造作材はスギ、ヒノキともリフォーム用の小口需要中心。建具材は時期的に軟調。外材の構造材も国産材同様で低調。造作材はスプルー、米ヒバ中級品の荷動き良い。買方の手持ち仕事少なく、来場しても模様眺めの状況。梅雨に入り荷傷み感から在庫補充は弱い。アカマツ垂木は売れ筋だが、需要が浅く相場は上がらない。今後この低調な市況は暫く続くと予測。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱・小割・板、ヒノキ KD 柱・土台とも保合。外材はロシアアカマツ野縁保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合。タモ・ナラ平割強保合。集成材は WW

柱、RW 梁、柱ともに保合。合板は国産針葉樹、輸入品とも保合。プレカットの受注変わらず。工務店は新築見積もりが増え夏以降の仕事に期待。改築・リフォーム中心の受注に変化ない。

6月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↘
			米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
			同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
			アカマツ(KD) 30×40 AB	↗
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 15×45AB 18×45AB	↗
			アカマツ (KD) 15×45AB 18×45AB	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↗
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗